

21053 癒しのセラピー Therapy for Healing		3 年次～ 後期 2 単位	
担当者	望月 珠美	履修可能学科	E Pe Pc C W F N
		関 連 資 格	
サブタイトル	癒しとは何か		
授業内容 ・ ねらい	現代社会を象徴する言葉のひとつでもある「癒し」。この講義では、ブームの様相を呈して久しいこの言葉の意味と実態、科学的なメカニズムを擬似的な体験を含むさまざまな学びを通して理解することをめざします。 講義ではまず、日頃から自分自身が感じ行っているさまざまな「癒し」やヒーリングの時間や空間、方法等について振り返ります。そして、「癒し」が自分を知ることや健康、生活等と深いかわりがあることを確認します。そして「癒し」とは何か、その定義を共有した上で、今日の社会において国内外を問わず実践されているさまざまなセラピーの概況と内容について紹介します。 この授業では、「癒し」を科学的視点から捉える視点を大切にします。また、いくつかのセラピーについては、その実際を模擬的に体験することを通して理解を深めます。		
授業計画	1. オリエンテーション 2. 「癒し」の体験 1 3. 「癒し」の体験 2（解説） 4. 「癒し」の定義 5. 現代社会と「癒し」 6. 「癒しのセラピー」の実際（音楽療法 1） 7. 「癒しのセラピー」の実際（音楽療法 2） 8. 「癒しのセラピー」の実際（DM療法） 9. 「癒しのセラピー」の実際（芸術療法） 10. 「癒しのセラピー」の実際（森林療法 1） 11. 「癒しのセラピー」の実際（森林療法 2） 12. 「癒しのセラピー」の実際（園芸療法 1） 13. 「癒しのセラピー」の実際（園芸療法 2） 14. 「癒しのセラピー」の実際（動物介在療法） 15. まとめ （順番は前後することがあります。）		
教科書 参考書	教）はありません。 参）になる出版物等については、講義時間内に適宜、紹介します。		
評価方法	講義への参加態度、各種課題への取り組み、学期末試験もしくはレポートの結果から総合的に判断します。その配分は、概ね 3 : 3 : 4 とします。		
事前準備学習 履修条件等			